

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

「細胞診検査報告書」改訂および 結果報告用封筒変更について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、弊社では「細胞診検査報告書」の仕様を別掲の通り改訂させていただきますので、取り急ぎご案内致します。

また、本変更に合わせて、細胞診検査の結果報告用封筒を変更させていただきます。宜しくご了承賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

対象報告書

- 細胞診検査報告書

実施期日

- 平成28年3月19日(土)受付分より



細胞診検査報告書

細胞診検査報告書のバーコード印字位置および細胞分類の印字内容を変更致します。

【報告書見本】

細胞診検査報告書 (東京営業所) ID: 901033

EXP. 062 - 000 999999 株式会社 病理 細胞診ラボラトリー 様 報告日 2100/12/31 受付日 2100/12/21

患者名 サイノウ シン 様 提出医 ビョウリ 先生 検査番号 G95074144-1
 性別: 女 年齢: 100 科名: 婦人 外来 材料 子宮頸部
 生年月日: 平成99年12月31日 病棟:
 カルテNo. 999999999 患者ID 4/1-999999 採取日 2100年12月31日

臨床診断

1. 子宮頸部上皮 円柱上皮 移行帯
 2. 異常所見
 3. 炎症所見
 4. 不透明
 5. その他の非癌所見: コンジローマ びらん 炎症 萎縮等

最終月経 年 月 日 ~ 翌(日型) 不整 妊娠 週
 閉経 〇才 分娩 回 最終分娩 年月 妊娠 回
 性ホルモン剤 未使用・使用中(注・錠・局所) 異常妊娠
 卵胞 黄体 混合(卵胞+黄体) 男性 男女混合 有・無

放射線療法: 有(年 月)・無 抗がん剤使用: 有(年 月)・無

標本の種類 直接塗抹法
 標本の適否 適正(子宮内頸部/移行帯細胞を認めます)

判定・診断	ヘパニコロウ 陰性 : Class II ヘセス? ASC-US	類 扁平上皮細胞 頸管内頸上皮細胞 好酸球 形質細胞 真菌 類 表層細胞 : 少数 体内頸上皮細胞 好塩基球 組織球 トリコモナス 分 中層細胞 : 1+ 赤血球 単核球 球菌 精子 類 傍基底細胞 : 2+ 好中球 : 2+ リンパ球 桿菌
-------	---	--

細胞所見
 SEVERE ATYPICAL REPAIR CELLS
 COLPITIS SENILIS (ATROPHIC CHANGE)
 萎縮性の細胞異型がみられます。
 エストロゲン投与後、再検して下さい。

細胞検査士: 細胞診専門医:
 細胞診専門医番号 600

本報告書を公表する際は予め弊社まで御連絡下さい。
 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢4丁目1番1号 株式会社LSIメディアエス
 TEL. 03-3558-2671 FAX 03-3558-2753

改訂後は報告書左上にバーコードを印字します。
(自動封緘装置を使用するため)

細胞診専門医が判定した場合、左欄に細胞診専門医のコメントを記載しておりますが、その際の印字を「細胞診断」から「細胞所見」に変更します。(表記の適正化)
 細胞診専門医が判定しない場合は従来通り「コメント」と印字します。

改訂前は報告書右下にバーコードを印字していましたが、削除します。

* 実物の報告書はB5サイズです。

細胞分類の印字内容を変更します(材料により印字内容が異なります)。

	旧	新
真菌:	カンジダ: +	真菌: +
組織球:	塵埃細胞: + 泡沫細胞: +	組織球: +
円柱上皮細胞:	気管支上皮細胞: + 杯細胞: +	円柱上皮細胞: +

例) 婦人科材料でカンジダを認めた場合

判定・診断	ヘパニコロウ 陰性 : Class II ヘセス? NILM	類 扁平上皮細胞 頸管内頸上皮細胞 好酸球 形質細胞 真菌 : 1+ 類 表層細胞 体内頸上皮細胞 好塩基球 組織球 トリコモナス 分 中層細胞 : 1+ 赤血球 単核球 球菌 精子 類 傍基底細胞 : 2+ 好中球 : 1+ リンパ球 桿菌
-------	---	--

コメント
 カンジダを認めます。

また、従来は「細胞診検査報告書」をクラフト封筒(茶色)にてお届けしていましたが、白色封筒(裏地紋入)に変更させていただきます。

* 平成28年3月19日(土) 受付分より、順次新封筒に変更致します。